

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市茨川町三丁目5番地7
 (茨川福祉センター内)
 TEL0561-51-2878

根本大塔



弘法大師御廟のある釈迦之院は、一り橋から約二キロの参道に樹齢数百年もの杉木立があり、二十万基以上ともいわれる、名だたる武将請大基が建ちまわっている。

いにしへの薫りと
千年の祈りに出会う



御影堂

2012.05.08

御影堂

弘法大師の持仏堂、念誦堂で、真如親王筆の大師の御影を祀りしている。現在の建物は、弘化四年(1843)に再建された。後、やがて屋根の分配と深い軒と所々優雅なお堂である。



御影堂の深軒

2012.05.08

金剛峯寺
(国指定文化財)
弘法大師の時代
金剛峯寺は、高野山全体を指す名称であった。その後、文禄二年(1593)に豊臣秀吉の亡女の菩提を弔う為に建立された青嚴寺が、明治二年(1869)に興山寺と合併、以後、再隆とす。名称となった。

根本大塔

弘法大師が高野山を開創され、真言密教の根本道場として着手されたのがこの建物である。朱色に映える立派さと大きさに眼をうばわれるこの建物は、六年の歳月をかり、昭和十二年(1937)に再建されたものである。高野山約四十九ヶ所の約四分の一の四圍の偉容を誇る、真言密教のシンボルである。

高野山の主祀世界遺産遺産には「史跡金剛峯寺境内」として高野山町石道にあり、高野山は冬々の文化財が伝えられている。

金剛峯寺の山門も入口も巨大。



金剛峯寺(国指定史跡地域)

2012.05.08



2012.05.08